

土浦市中心市街地活性化協議会

第 26 回会議議事録

日時 令和 5 年 11 月 22 日 午前 10 時 00 分
会場 土浦商工会議所

1. あいさつ
2. 報告事項
 - (1) 第 25 回土浦市中心市街地活性化協議会
3. 協議事項
 - (1) 第三期土浦市中心市街地活性化
基本計画（案）に対する意見書について

第26回土浦市中心市街地活性化協議会議事録

開催日時 令和5年11月22日(水)午前10時00分
開催場所 土浦商工会議所
出席者数 委員18名(代理1名)
出席者名 中川喜久治(土浦商工会議所会頭)
大澤 義明(筑波大学教授)
酒井 忍(土浦都市開発(株)常務取締役)
石田百合子(土浦商工会議所女性会監事)
佐藤 亨(土浦市産業経済部長)
塚本 隆行(土浦市都市政策部長)
関 和郎(土浦商店街連合会副会長)
川野 重匡(東日本旅客鉄道(株)土浦駅長)
横山 恭教(NPO法人まちづくり活性土浦理事長)
竹中 紀博(土浦市地区長連合会副会長)
篠 捷子(土浦市女性団体連絡協議会副会長)
清水 勉(土浦市金融団)
内村 尚史(土浦市金融団)
佐藤 之則((公社)茨城県宅地建物取引業協会土浦・つくば支部幹事)
堀越美樹朗(水郷つくば農業協同組合常務理事)※代理
高木 節子((一社)霞ヶ浦市民協会副理事)
永井 昭夫(茨城県建築士会土浦支部副支部長)
寺田 賢((一社)茨城県ハイヤー・タクシー協会県南支部会計)

(オブザーバー)

小田倉正人(茨城県産業戦略部中小企業課経営支援室係長)※代理

(土浦市)

福澄 雄佑(都市整備課長)
沼尻 健(商工観光課長)
石引 康博(都市整備課長補佐)
長坂 英治(まちづくり推進室長)
藤澤三智彦(まちづくり推進室主幹)

(事務局：土浦商工会議所)

松井 修一(専務理事)
加賀美吉彦(事務局長)
寺田 英明(商工振興課長)
菅原 伸司(商工振興課長補佐)

1. あいさつ

(中川会長)

皆様おはようございます。すっかり晩秋という感じですが季節感としては少し暖かい気がします。それでも未だコロナも蔓延していますし、インフルエンザも猛威を振るっている状況で学級閉鎖が小中学校であるようでございます。そのような中で中心市街地活性化協議会も今回で26回目でございますが、ご参加いただいたこと非常に嬉しく思います。

昨日、土浦小学校の校歌を野口雨情が作ったということで、そのお孫さんが土浦小学校を訪れまして、歌のお話をされたということを篠委員からお聞きしました。歌を作詞家の考えや想いを理解した上で歌うのと、ただ歌うのとでは聞く方のイメージが全く違うということをお話されていて、何故なのだろうと考えていました。

現在、全国市町村の統廃合があるなかで小学校も統廃合があつて、野口雨情は茨城県が輩出した全国的に有名な作詞家で、作詞された校歌がたくさんあつたのですが、小学校の統廃合で校歌が新しくなつてしまい、野口雨情作詞の校歌が残っているのが土浦小学校くらいしかないという話を聞きまして少し寂しく思いました。

これも人口減少の影響でしょうし、市町村どころでなく小中学校の統廃合や中高一貫校なども増えているということも含めて、そういう事象に対して危機感を持って色々なことが変わっていかねばならないという状況だと思えます。

26回を迎える土浦市中心市街地活性化協議会におきましても、危機感をしっかり持たないと本当の意味での大変さを感じ、何とかなるだろうという考えではいけないということを実感しながら、皆様には土浦市の活性化について考えていただきたいと思えます。

土浦市の中心市街地活性化について、土浦の肝であるのはやはり霞ヶ浦・筑波山の水郷つくば国定公園という風光明媚でわざわざ出向かなくとも良い場所に我々は住んでいるのだということをお話を大切に思いながら、これを活かしていくのだということで、噴水を含めた集客や、水質浄化をしっかりと県民にご理解いただきながら整備しなければならないとお話したところではあります。地域の活性化にはシンボリックなものが必要であるという意見が外部からも出ているということを含めて、我々も普通のまちでなく国定公園の中に生きているということ、土浦市の特徴というものを発信していきたいと思っております。

いずれにしても、コロナ禍にはならないと思えますが、日常を取り戻していくということも含めて、この間の92回目を迎えた土浦全国花火競技大会も主催者公表で60万人の来客があつたこと、また、内閣総理大臣賞等の授賞式も無事開催できたということで、色々なことが日常を取り戻していき動き出していくという時期であります。我々としてはわかっていることだと思えますが、土浦市中心市街地の魅力を外部に発信するために色々知恵を絞っていききたいと思えます。

改めまして委員の皆様におかれましては、ご多用の中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

前回8月の会議の際にもお伝えしておりましたが、本日の会議の主題は、協議会から土浦市に提出する意見書(案)についてご意見をいただくことです。

今回の意見書(案)をお目通しいただいて、色々ご意見が出るかと思えます。

当然、全てが集約できているとは思っておりませんが、第二期計画を踏まえ、向こう5年の実施計画で目標を達成すること。また、5年後以降にもつながる提案も含め(案)を作成したものです。

協議会としてこれを如何に発信して、実現に向け後押しできるかだと思っております。計画策定はあくまで手段ではありますが、活性化に向けて重要な過程であり、市の職員の皆様のご苦勞も大変なものがあつたと思えます。

土浦市におかれましては、これから国との調整で正に大詰めに迎えるわけですが、我々は応援団ですので、それに向かう土浦市に対して後押しできるような意見書を作成したいと思っております。

より良い意見書が整備出来るよう、活発なご発言をいただくことをお願いいたしまして冒頭のご挨拶とさせていただきます。

2. 報告事項

定足数報告

(事務局)

規約の定める 1/2 を満たしている事を報告。

(1) 第 25 回土浦市中心市街地活性化協議会

(事務局)

資料① 議事録をもって報告に代えた

3. 協議事項

第三期土浦市中心市街地活性化基本計画（案）について

(中川会長)

それでは、暫時議長を務めます。活発な協議になりますよう、皆様のご協力をお願いいたします。

本日の議題は、土浦市が策定した第三期基本計画（案）に対して本協議会から公式に提出する「意見書」についてです。

この意見書については、前回までの会議を踏まえて叩き台となる（案）を提出いたしました。

これまで頂いたご意見については、極力反映させた案を作成しておりますが、記載漏れや表現の問題等、過不足があると思います。

年内にも提出する意見書の取りまとめになりますので、洗練された意見書になるよう、皆さんからご意見を伺ってまいりたいと思います。

まずは、土浦市より三期計画（案）について、前回会議以降で修正された部分と、併せて 9 月に実施したパブリックコメントについても説明をお願いします。

説明は、土浦市都市整備課まちづくり推進室の藤澤さんをお願いいたします。

【説明】

土浦市都市整備課藤澤主幹より、第三期計画（案）の資料②資料③について修正のあった部分について説明並びに 9 月のパブリックコメント結果と追加記載内容について説明。

(中川会長)

続きまして、意見書（案）について、事務局より説明をお願いします。

【説明】

土浦商工会議所商工振興課長寺田より、意見書（案）内容について説明。

(篠委員)

サイクリング事業について市をあげて盛り上げようとなっておりますが、サイクリング客はまちなかには入ってこないと思います。コースが霞ヶ浦周辺とかつくば方面などになっていますので。また、スピードが速いので、まちなかを走られるのは危険かと思えます。まちなかに呼ぶのであれば、何か別の方法を考えなければならないかなと思います。

ヨーロッパではサイクリング客に対しては、道路沿いに自転車を綺麗に並べて駐車してもらい、まちなかを移動してもらおうというようになっています。土浦のまちなかでは、そのようなものが無いのと、自転車を駐車すると邪魔になるという状況ですので、呼び込むなら、そのような場所が必要であると思います。また、車で走って気が付きましたが、矢羽根の道路標示がどうなのかな、ちょっと怖いかなと思って運転しています。

空き店舗がまちなかにありますけども、お店が無くなってきていて、ちょっと一休みしようというお店がありません。昔だったら、そのような店があってそこでお茶などを飲んで、おしゃべりしながら一休みして帰るという楽しみがありました。空き店舗の対策として人が集まれるような場所を作ってそこで時間を潰せるであるとか、特に駅から亀城公園までかなり長い距離なので、そういう一休みできるお店や場所が必要と感じています。

以前つくば市に行ったとき、バスなどを待っている時間帯に、商業施設が無くたった

場所に一休みできるところが作られて、各階ごとに、子供のスペースや大人のスペースなどうまくスペース分けされた施設でした。土浦もそのような施設があったら良いと思っております。

(中川会長)

サイクリング客をまちに誘導して、お金を落としてもらおうという考えもありますですが、市としても色々検討されていると思いたしますがいかがでしょうか？

(長坂係長)

自転車をまちなかにということですが、観光協会のまちかど蔵でもレンタサイクルなどを実施していきまして、サイクルラックなども店頭などに設置させていただいていきまして、誘導というか来ていただくことについて推進しているところなんです。停める場所についてはサイクルラックの設置協力を進めています。

休憩場所につきましては土浦駅から亀城公園の間までで、意見書(案)の中にもありますが、中心市街地まちなか再生事業は駅と亀城公園の中間地点となりまして、公共施設と民間施設の複合施設などの設置が含まれており、そういう意味でも市民の方が立ち止まって休める場所という形で考えていきまして、今までも市役所の中でも市民ラウンジだとか駅北再開発での図書館の中のギャラリーでも市民が休憩できる場所などの整備を進めておりましたことから、今後も中心市街地活性化に向けて推進していければと考えているところなんです。

(竹中委員)

今回意見書(案)の中で、中央一丁目地区について重要である旨が明記されておりましたが、地元としてはありがたいことだと思っております。

この中で矢口家住宅という固有名詞も出ておりますので、是非、矢口酒店跡の有効活用を皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。現在観光ボランティアさんをお願いして中に入れてもらっているということと、矢口さんのお嬢さんですが現代美術をやっているらしいしまして、その個展くらいしか使われておりませんので、非常にもったいない話です。

あと意見書読み込んだ中でシティプロモーション推進事業の所で、「体験による」という部分でカタカナで「コト」と書いてありますが、皆さんご理解いただけますかね。コトとは、何をさしているのか教えていただければと思います。

(事務局)

これについては、川野委員が以前おっしゃっていましたがデスティネーションキャンペーンの説明で、今回体験を提供するという事で記載しましたが、わかりづらいということであれば、「体験の提供を通じて魅力を提供する」という文言で記載しようと思いたしますが、いかがでしょうか。

(川野委員)

コトと書いてあるから、わかりづらいのかなと。「コトづくり」と言ったほうが良いかと思いたします。何かものを作ってそれを体験いただくという意味になるかと思いたしますので、そのほうが理解しやすいかと思いたします。「コト」だけだと意味が伝わりづらいので「コトづくり」とすると良いかと思いたします。何かを作って皆様に提供するという事で「づくり」という言葉を入れると伝わりやすいかと思いたします。

(中川会長)

茨城県内の駅長さんが活発な活動を実施しているようですが、デスティネーションキャンペーンの状況はいかがですか。

(川野委員)

かなりのお客様が茨城県に来ていただいているかと思いたします。笠間市には吉永小百合さんが大人の休日倶楽部のCMをしていただいています。茨城DCだから

来ていただいているのですが、私も行きましたが、なかなか素晴らしい施設がありまして、そういう所は通常 1,000 名くらいの来訪者なのですが、4,000 名ほど来ていただいているということで、特に土日を中心に他県から来ていただいているということから、茨城 DC の茨城県の魅力発信という所では良い傾向だと思います。

土浦でいうと前回この場で話しました「何かを楽しみにしてください」というサービスということで、初めての取り組みで実施させていただきました「常磐線サイクリン」 というイベントで、上野から土浦までの区間で上野・土浦間は乗降車できないのですが、首都圏エリア 50 km 圏内では初めての輪行バッグを使用せず、自転車を折りたたむことなく電車に乗ってもらうというサービスを 10 月 1 日から土日限定で実施しています。便数は上野から朝の 7 時台が 2 本、夕方は土浦から 16 時と 17 時に限って 15 両編成に各車両 2 名ずつ乗車いただいて、1 本の電車に 10 名という限定で 1 日合計 40 名に利用いただくというものです。これがかなり人気で、これまで 14 日間実施していますが、各日申込満員で 560 名の申し込みがありました。ただ雨などの予報になると当日キャンセルや来なかつたりする方がおまして、実質 250 名くらいの利用いただいております。本サービスは 12 月 17 日までということで、残り期間 9 回ですがこれを含めてしっかり検証し、次年度どう繋げるかを現在検討しているところでございますが、土浦駅にはかなりのサイクリストが来ていただいているのかなと思います。

BEB5 も結構来ていただいているようで、先日 DC というのもあって BEB5 で研修を兼ねた宿泊を実施していて、我々のグループ会社から約 100 名が 2 回に分けて利用しました。

また、11 月 25 日・26 日と市の方でも産業祭とカレーフェスティバルを開催する旨のお話をされていますが、我々も JR バスと連携して 11 月 26 日に土浦市民を対象に、鉄道の仕事を体験いただくということで参加者を募集させていただいて、土浦市の広報誌だけなのですが 270 名の申し込みがありました。その他、普段体験できない鉄道の魅力を紹介するというイベントでは首都圏から 100 名の申し込みがありまして、すぐに満員となりました。ということで 11 月 26 日は土浦市民の 270 名、首都圏から 100 名ということで 400 名近いお客様が土浦駅周辺に集まるということになります。

我々も皆様と一緒に、まちを盛り上げていくという想いの中で色々な政策を考えているので、サイクリング客が土日来ていただいてもお店が閉まっていたり、つくば市の方やかすみがうら市のかすみキッチンや行方市の道の駅などに行っているという感じなので、まちの賑わいというところでは、モール 505 とかももう少し賑わっていたら駅の方でも、案内できて賑わいを創出できるのかなと思います。

先ほどお話があった駅長の活動ということで、駅長総選挙という茨城県内の駅長が各々のまちを PR するという対抗戦でありまして、以前下館駅長ということで出場していました。今回は土浦をアピールするにはどうしたら良いかと考え、土浦市は日本一のレンコンがあるので、「レンコン駅長」ということでポスターに出させていただいて、土浦市や水郷つくば農業協同組合協力の下戦いしましたが、一夜にしてつくば駅に負けてしまいました。これは当時つくばラーメンフェスティバルが開催されて、そこでパンフレットを配り投票を促したと思うのですが、200 票差を逆転されました。現在決勝戦を行っております。我々は負けてしまいましたが、そういうところで茨城の魅力を発信しています。

今回はレンコンを PR させていただきましたが、対抗戦は SNS で発信しており、13 万人強の方々に見ていただいているので、少なくともそのの方々には土浦のレンコンを PR できたのかなと思っております。

(中川会長)

ゲストレーションキャンペーンという JR 土浦駅さんのお力添えをいただいて、茨城県をそして土浦を全国に PR いただいたことでチャンスが生まれたと思いますし、電車に自転車を乗せて来てサイクリングロードなどに向かっただくという素晴らしい体験ですから、その流れを上手く市内に繋げるというところでは、関委員の所属する土浦商店連合会と連携していければと思います。関委員いかがでしょうか。

(関委員)

日曜日に昼食を摂ろうと思ったのですが、空いている店が無いという困った事態に遭遇しました。平日に比べると人の流れが五分の一以下になってしまうので、それならば日曜日でも店を閉めようかということ増えているのは確かです。もともとは水曜日定休日ですが、今は半分くらいの店が日曜日もお休みしています。イベント時くらい開けてほしいとお願いしていますが、開けてくれたりするお店もありますが、なかなかご協力いただけない状況です。

イベントがいつあるのかが、わかりにくいですね。例えば商工会議所とかどこかで、ホームページとかでわかりやすくなっていけば良いのですが、それぞれの主催者が勝手にやっちゃっているだけになっている感じで全然我々には見えづらく、対応できないということで、その辺も考えてほしいと思います。

(篠委員)

竹中委員と話ししていましたが、SNS などを利用している人たちがどれくらいいるのかなと感じたことと、私たちも土浦情報ステーションと言って土浦の情報を発信していますが、自分たちが行った所しか発信できないのですけれども、3人で運営しておりますが、それをうまく利用できるような形と、関委員が言ったようにバラバラでどこで何をやっているのかわからないのが良くないと思います。今までも色々なイベントをやっていますが、バラバラが土浦の特色だと思うのです。そこを土浦市のホームページの中に今週のイベントや今月のイベントがわかりやすいページを作ってもらい、また、そこにイベント行く人たちが情報を掲載でき、提供できるようなページがあると良いと思いました。みんながインターネットを見るわけでないので、文字でのお知らせをしていると思いますが、そういう情報を共有できるように皆さんで連携できればと思います。

(横山委員)

情報発信については、篠委員がおっしゃった話のとおりだと思います。情報発信の場所ということでモール505の「ほっと one」ではイベント情報を発信していますが、フォロー数が少なく、見る方も少ないので情報発信力が足りないのかもしれませんが、かといって市役所のホームページにといてもなかなか見てくれないのではと思うので、「ほっと one」にもっと努力いただいて、月ごとのイベント情報発信やJRさんも含めて協力していただくよう、働きかけていくしかないのかなと思いますし、情報は市民に対する発信より、市民ではない方に発信するのが大切なので、そういった方々にわかるような情報を発信することが大切で、我々がわかってなくても別に問題は無いだろうと私は思っていますので、多くの方々に土浦に来てもらう。その手段としてSNSを使った情報発信、色々ツールがありますが、フェイスブックは年齢層が高い方が見られると思うので、XやTwitter、TikTok、YouTubeなどを使って情報発信ができると良いと思います。

意見書(案)については読ませていただいて、土浦市が作ったハード面に対しては、素晴らしいと思いますので、ここにいる全員でソフト面に関して検討していくのが今後大切であって、「自分が自分が」でなく、横の連携や縦の行政との付き合いとか考えながらソフト面を考えていくことが一番大切だし、この場がその場だと思いますので会長のご苦勞もあるかと思いますが、よろしく願いいたします。

(内村委員)

情報発信について、市民だけでなく常総市の情報を知りたいという方に対して、ふるさと市民制度を作ってメールアドレスを登録していただき、定期的に市内の各種イベント情報が登録したサポーターに発信されるという仕組みがありました。ただ最近情報が入ってきませんので、運用がうまくいっていないのかなとは思いますが非常に速い時期から実施していたので、そういったものを土浦で言うなら花火大会などの情報を知りたいと思っている方々に発信ができる仕組みあるということを伝えさせていただきます。

それともう一つ、重ね押しスタンプというのがあって、これは例えば全5か所を訪れてスタンプを押していき、最終的には1枚の絵が完成するというものがありまして、例えばそれが、押していくうちに打ちあがる花火の絵柄が完成するというものがあると良いと思います。どこかの大学で2か所の違う大学同士で各々のイベントに行ったらスタンプ

プを押すと綺麗な絵柄が完成するとものもありまして、土浦で花火を打ち出すのであれば、市内のイベントごとにスタンプ事業を行えば、拠点を周ってもらえるという効果があると個人的に思いました。

(中川会長)

この間、阿見の土浦駐屯地武器学校で71周年式典がありまして、74式戦車のラストランがありまして、50年ほど活躍したその雄姿を全国から見に来たり写真撮影したり、空砲を聞いて涙を流すという方がたくさんいらっしゃって、情報とはすごいものだと思いました。

愛知県に行ったときの岡崎市で市政100年の都市ですが下水道整備100年ということで全国のマンホールを集めて展示するというイベントを実施し、全国から大勢の人が集まってくるものもありました。興味が無い人には気が付かないようなことでも、情報が揃っていればそれを見て大勢の人が動くのだなと実感しましたので、土浦市や会議所、観光協会も含めて情報発信は非常に大事なことだと思っております。

(清水委員)

意見書(案)見させていただきまして、しっかりできているなど感じました。これに対しての追加や修正ではないのですが、情報発信に関しての話です。以前も発言しましたが、期待するところとして土浦と言えればこれというものが欲しいと思ひまして、ひたちなか市なら海浜公園、笠間市なら焼き物というように必ず代表的なものがあるように、そういうものが土浦にも欲しいなど思っている中で、土浦ってそういうものがたくさんありすぎると思ひます。これば贅沢な悩みで花火なのか霞ヶ浦なのか亀城公園なのかカレーなのかわかりませんが、たくさんあるのだけど「土浦市なら、これ」という柱が欲しいと思うので、これを決めるのは我々でなく外部の方が決めるので、それが決められるような動きの情報発信をしてほしいと思ひます。

先ほどご意見ありましたが、市民でなく市外、県内外の方への情報発信というのがありましたが、市民に知らせるならデジタルサイネージというものがあって、市内の各所に設置してそういうものをうまく使って市内の方に情報発信できると思ひます。市外や県内外に発信する場合、まめに発信するところでは、土浦市なら、これだよねというものを市外の方々に選んでもらうというような情報発信ができると思ひます。

(佐藤委員)

意見書(案)の空き店舗の件ですが、補助制度について続けていただきたいですが、家賃補助について家賃額については底を突いているので、改築費用を主に補助をいただけたらと思ひます。それとこの事業を不動産屋さんに配って理解していただいて、どんな使っただけのような宣伝が必要かなと思ひます。

まちも大事ですが、特にモール505がひどくて、合法ドラックの配布がされているというように背景には、周辺の空気が乱れているということだと思ひます。また、公衆トイレもきたないし周りの設備もスケートボードをやる人が使わないのに、ロープで区切られています、そのさまが殺伐と感じられて、ラッパーや外国人が集まりやすい温床になっているような感じで、そうするとそういう場所には店舗は入らないし、また、空き店舗でも裁判がどうのという張り紙がされて鎖がされたままであったりと思ひ栄えが悪く、とてもその横には出店する気にはなれないという現象も起きていると思ひますので、その辺を市のほうでも対応していただきたいと思ひます。

(沼尻商工観光課長)

公園街路課に所属時に、モール505(管理組合)さんと今後どうするかということについて会合を実施してありました。しかしなかなか店舗が入らない。入らないと人が来ないというスパイラルから抜け出せなく、家賃を0円に近くして入店の促進をしてはなどの提案をさせていただきましたが、管理組合の経営上の事情もありますので、なかなか家賃は下げられないという状況でありました。市としてもこのまま民間だけにまかせている状況だけではないかなと思ひますので、こういう意見を管理組合に伝えたり、

市としても、イベントを一過性だけでやっているだけではいけないというのはわかっていますので、常に賑わいによって人が集まれば風紀も少しずつ回復していくのかなと思いますので、そういった意見を参考にしていきたいと思います。

(大澤副会長)

今回三期ということですが、一期二期三期と連続性がありますし、それができたということは非常に大事なことです。やはり継続は力なりですし、次世代に繋げていくというのは大切なことだと思います。あと、会長もおっしゃっていたように、土浦の土地の力を活かした内容になっていると思います。霞ヶ浦とか筑波山、駅周辺整備などが含まれており、私としては良い計画書だと思っています。

少し話は逸れますが、各自治体から空き家の位置データをいただいております。つくば市中心に半径 20 km くらいで土浦市からもご協力いただいておりますが、空き家の定義は自治体ごとに違っていて、厳しい所はきちんと調査されておりますが、個人情報もあってなかなか難しかったのですが、データを集めて統計を取りますと土浦市はつくば市やかすみがうら市などと比べて空き家率は高いです。廃校の問題がありましたけれども、非常に大事なことかなと思います。なかなかハードルが高いですが、そこを上手く使ってというようなことが大事かなと思いました。

冒頭、会長が校歌のお話をされていましたが、部活動が始まっていく中で、それをどうやって中心市街地で受けていくかということが大事かなと思います。土浦市は歴史と文化がございますし、そういう中でまちの文化財とかも含めて、まちでどう支えていくかということころを、土浦市は早めに対応していくのかなと今日の会議で思いました。

いずれにせよ、新庁舎、図書館、サイクリングということでこれまで継続してきた中心市街地の事業ですので、縦横繫いで推進していくということで、そういうサポート体制で、三期から四期と続けていくという意味でも非常に大事な計画だと思いました。

また、皆様からの積極的な意見をいただきながら計画を策定したということも申し伝えさせていただきます。

(小田倉中小企業課経営支援室係長)

本日は課長の代理として出席させていただきました。資料②で品川駅への乗り入れ本数の拡大ということで、乗り入れによってさらに賑わいや人口増が見込まれるということが修正点としてありましたが、皆様ご承知の通りつくばエクスプレスも土浦方面に延伸ということで、2050 年頃ということで 35 年という長期計画となりますが、県も関係自治体も含めて長い期間かけて実現に向けて交渉していくと思いますけども、そういった意味でつくばエクスプレスが乗り入れると、土浦がますます盛り上がってくるのかなと思います。是非超長期的な視点を持って今後も事業を行っていただければ、より良い計画になってくると思いますので、よろしく願いいたします。

(中川会長)

ありがとうございました。本日も貴重なご意見をいただきましたので、本日の発言も含め加筆修正させていただきますが、土浦市に提出するまで今回は最後の協議会となります。

期間も短いことから、意見書の修正につきましては、会長である私にご一任いただきたいと思いますのでよろしいでしょうか。

(議場)

議長一任

(中川会長)

ありがとうございます。修正したものは皆様に送付させていただきますので、よろしく願いいたします。

二期計画のフォローアップを含め活発なご議論をいただく中で、新たな課題や改善策、目指す方向性など、会の中では共有が図られたらと思っております、それが意見書にも反映できたと思っております。

協議会においては、今回の意見書提出で、一つの責務を果たすという意味で一段落となります。

今後、国と市との調整が順調に行けば、次回会議は次年度5月の総会になります。最後になりますが、活発なご議論をいただいた事へのお礼と今後ともご支援いただくことをお願いいたしまして、本日の会議は終了といたします。

長時間ありがとうございました。